

報道関係者 各位

2024. 3. 5
<配信枚数1枚>

■大阪府と島根県を遠隔で結び臨場感あるコミュニケーション実現■
遠隔の地域社会と連携した連携講座を実施
～最先端テクノロジーを活用し、離れていても学びを深める～

立命館大学総合心理学部(学部長:サトウタツヤ)と島根県立隠岐高等学校(校長:石倉修)は、MUSVI株式会社(東京都品川区、代表取締役社長:阪井祐介)のテレプレゼンスシステム「窓」(※)を活用し、大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)と隠岐高等学校(島根県隠岐郡隠岐の島町)をリアルタイムで結んだ高大連携プログラムを、3月11日(月)に開催いたします。

コロナ禍以降、オンライン化という観点から大学での教育・研究環境は急速に変化しています。映像教材を積極的に利用するオンデマンド型教育では、学習の利便性や学習効率の向上が見込まれ、リアルタイムの双方向通信を可能とするビデオコミュニケーションツールを用いたオンライン教育も、多くの場面で導入されています。

立命館大学総合心理学部ではDX教育・研究環境の更なる進歩を目指し、テレプレゼンスシステム「窓」による大学キャンパスと遠隔地との臨場感あふれるコミュニケーションを実現しました。地域社会や小中高生との「窓」を用いた交流・協働の実践、「窓」を用いた豊富なノンバーバル情報を伴う相互行為の検証などを通して、教育と研究の両面から、臨場感あふれるテレプレゼンスという新しいコミュニケーション形態の実践と効果検証を進めます。

隠岐高等学校は「郷土を愛し、地域や社会の未来を切り開く人材を育てる」というグラデュエーション・ポリシーのもと、隠岐の社会課題を発見・解決に向けて取り組む探究学習「隠岐ジオパーク研究」に取り組んでいます。探究学習を進めるにあたって、隠岐高等学校でも「窓」を導入し、生徒のアイデアを企業や大学と繋いで学びを深めています。

今回の高大連携プログラムは、「窓」を活用し、立命館大学総合心理学部の教員や学生と、隠岐高等学校の生徒が遠隔で繋がり、「教員交流」や「学生・生徒交流」を行います。

(※)「窓」は、ソニーが有する映像・音声・インタラクションの技術をオントロジカルな視点から凝縮し、距離の制約を超えて、相手が目の前にいるようなリアリティと、同じ空間を共有しているような気配や雰囲気(アウラ)を感じさせる次世代コミュニケーション装置です。

記

日 時 : 2024年3月11日(月) 15:30~17:30(予定)
場 所 : 立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市岩倉町2-150)
島根県立隠岐高等学校(島根県隠岐郡隠岐の島町有木尼寺原1)
対 象 : 立命館大学総合心理学部生
島根県立隠岐高等学校 生徒 ほか
内 容 : ○教員ワークショップ(創造対話~どんな交流がわくわくする?~)
○学生・生徒交流会(ワールドカフェ)

※ご取材頂ける場合は、イベント開始前までに下記までご連絡をお願いします。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和 TEL. 075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsume.ac.jp